

施設選び

お金の備え

お金の管理

成年後見

「親なきあと」 を見据えた過ごし方

竹の子の会が発足して30年以上が経過した今、切実なのが「親なきあと」の暮らしについての問題です。
障がい者とその家族にとって避けては通れないこの難題に対して、
親としてどのような心構えが必要なのか、お金の話を中心に学ぶ機会としたいと思います。

講師

藤井奈緒さん

- ◆ 一般社団法人『親なきあと』相談室 関西ネットワーク 代表理事
- ◆ 一般財団法人 お寺と教会の親なきあと相談室 理事 兼 アドバイザー

重度の知的障がいがある長女(21才)と発達障がいの診断を受けた次女(15才)の母。『親なきあと』次女一人に、長女の世話を引き受けさせることになるかもしれない状況に危機感を抱き、法的な備えについての勉強を始める。その後、自分と同じように『親なきあと』を心配している障がい者家族が大勢いることを知り、講演活動等を通じて、将来に向けて備えることの重要性を訴えている。



開催概要

- 日時** 2024年 9月7日(土) 14:00～16:00 (13:30より受付)
- 会場** ウィンクあいち 会議室1102 (名古屋市中村区名駅4丁目4-38)
- 定員** 先着100名
- 参加費**
 - ◆ 竹の子の会会員(西東海支部)……無料
 - ◆ 竹の子の会会員(西東海支部以外)……500円
 - ◆ 一般の方……1,000円※一般の方は竹の子の会会員の関係者に限らせていただきます
- 申込み** 右のQRコードの申込みフォームよりお申し込みください。
締め切り: 2024年8月31日(土) ※定員に達し次第終了いたします

